

環境保全普及推進事業「エコライフ・フェア 2015 実施業務」 評価（案）の概要

1. 事業概要

事業内容：エコライフ・フェア 2015 開催に係る実施計画作成業務等、フェア開催業務等

契約期間：平成 27 年 3 月 2 日から平成 27 年 8 月 31 日まで

応札者数：3 者

2. 実施状況に関する評価

- 確保されるべき質として設定された以下の項目については適切に実施された。
 - ・民間事業者は、フェア開催業務において策定された実施計画、作業スケジュールに沿って業務を確実に行うこと
 - ・来場者アンケート（目標＝満足度 80%以上）→80%
 - ・来場者数：65,000 名程度→約 116,000 名
 - ・実施計画において企画した程度の出展者を集めること
 - ・実施計画において企画した程度の広報活動（ポスター配布・掲出数、HP の随時更新等）を実施すること
 - ・出展料の管理を適切に行うこと（出展料設定等）
 - ・イベントを中断等なく開催すること
- 創意工夫に関しては、ペロタクシーや移動水族館など新たな企画を行い、過去最高の来場者数を確保する等良好に業務が実施された。

3. 実施経費に関する評価

本業務の実施に要した経費は 33,177,000 円（税抜）であり、民間競争入札導入前の従来の実施に要した経費（平成 24 年開催分・税抜）33,809,270 円と比較したところ 632,270 円（1.9%）の削減効果が認められた。

4. 今後の事業について

民間競争入札の導入により、公共サービスの質・水準もおおむね確保され、また実施経費の削減も実現している。更に民間事業者の創意工夫も発揮されていることから、良好な実施状況であると評価できる。

競争性の確保についても取り組まれることとなっており、監理委員会の関与がなくても引き続き適切に実施されることが見込まれる。

これらのことから「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会決定）Ⅱ. 1.（1）の基準に基づき、今期をもって市場化テストを終了することが適当であると考えられる。

以上